

2021 年度日本海洋学会第 4 回幹事会議事録

日時:2021 年 11 月 29 日(月)13:30~16:40

場所:Zoom を利用したオンライン開催

出席者:神田会長、伊藤副会長、岩本、梅澤、江淵、岡、乙坂、帰山、川合、高橋、土井、中野、西部、野口、三角、吉田、事務局(毎日学術フォーラム:平坂)

議題

1. 議事録(案)承認(三角幹事)

2021 年度第 3 回幹事会の議事録(案)が確認され、承認された。

2021 年度秋季評議員会の議事録(案)が確認され、承認された。

2. 審議事項

(1) 入退会について(乙坂幹事)

2021 年 8 月から 9 月の入会者(10 名)と退会者(2 名)が承認された。2021 年 9 月末時点の会員数は、1454 名。

(2) シンポジウムの後援・協賛等について(乙坂幹事)

後援・協賛等について 8 件の依頼があり、承認された。

(3) 募集・推薦等の依頼(乙坂幹事)

公募・推薦 10 件、シンポジウム・講演等について 3 件、転載許諾 1 件、その他 1 件の依頼があり、学会ホームページにて公開、メーリングリストにて配信等の対応がなされたことが報告された。

(4) 会費未納者について(乙坂幹事)

会費未納者(1~3 年)について確認し、会費の納付について声かけを行うことになった。

(5) 出版ライセンス契約(LTP)への変更について(江淵編集委員長)

Journal of Oceanography について CTS(著作権譲渡同意書)を LTP(出版ライセンス契約)に変更することについて提案があった。変更する場合の手続きについて確認し、次回の幹事会で再度審議することとなった。

(6) 選挙の電子化について(中野幹事)

選挙の電子化について複数の業者からの提案内容のメリット・デメリットを確認した。引き続き検討を進めることとなった。

(7) 特集「海洋学の 10 年展望 2021」について(吉田編集委員長)

海の研究に出版された特集「海洋学の 10 年展望 2021」の出版費用について提案があり、承認された。

(8) 日本海洋学会の将来構想に対応した研究会の設置について(伊藤副会長)

会員の方から提案のあった、日本海洋学会の将来構想に対応した研究会の設置について審議し、今後の方針について伊藤副会長から会員の方に回答することとなった。

(9) 2022 年度秋季大会の大会運営について(土井幹事)

2022 年度の秋季大会の大会運営について提案があり、承認された。

2023 年度の秋季大会の大会開催地について提案があり、承認された。

マイページを利用した大会申込み方法について提案があり、提案の内容で進めることとなった。

(10) 吉田賞の新設について(神田会長)

吉田賞の新設とそれに伴う会則・細則の提案があり、引き続き検討を進めることとなった。

(11) 日本海洋学会の法人化について(神田会長)

日本海洋学会の法人化について協議し、今後の進め方について確認した。

(12) ファイル共有サービスについて(神田会長)

ファイル共有サービスについて協議した。

(13) 用語集への ISBN の付与について(川合幹事)

会員の方から提案のあった、研究に関する将来構想に関連して作成している海洋学に関する用語集(海洋学会ホームページに掲載)に ISBN を付与する件について協議し、川合幹事から会員の方に回答することとなった。

3. 報告事項

(1) 会長(神田会長)

吉田賞の新設に関連して寄付を受け入れた事が報告された。

東レ科学技術賞の推薦依頼があり、海洋学会から推薦を行ったことが報告された。

秋季評議員会で法人化について、概ね方向性が認められたことが述べられ、今後必要な作業を進めていくことが述べられた。

2021 年 9 月 13 日～17 日に 80 周年記念大会として秋季大会開催が開催されたことが述べられ、大会事務局を務めた東大大気海洋研の会員及び、運営に関わった学会員に対して感謝の意が示された。

2021年9月30日に日比谷会員が第14回海洋立国推進功労者内閣総理大臣表彰を授与されたことが述べられ、祝意が示された。

2021年10月5日に米国プリンストン大の真鍋淑郎博士にノーベル物理学賞が授与されることが決まった事が述べられ、祝意が示された。

三賞選考委員会から賞選考に関わる年齢制限の考え方について意見があったことが報告された。

JpGUから防災教育担当の窓口を決めて欲しいという打診があり、中野幹事に依頼したことが報告された。JpGUからPEPSへのレビュー論文投稿の依頼があったことが報告された。

JpGUから関連する学協会の会員の受賞等について情報提供の依頼があり、JpGUのホームページに掲載される予定であることが報告された。

日本学術会議の大型研究計画について今後の見通しが述べられた。

(2) 庶務(乙坂幹事)

2021年12月～2022年1月の幹事会のスケジュールを確認した。

(3) 会計(西部幹事)

吉田賞の新設に関連して口座を新設する予定であることが報告された。

(4) 研究発表(土井幹事)

JpGU2022はハイブリッド形式で開催される予定であることが報告された。例年と同じくらいのセッションの提案があり、海洋学会の学協会共催セッション数も例年と同程度となる見込みであることが報告された。

2022年の秋季大会は前述の通り(審議事項(9))準備が進められていることが報告された。

(5) 編集

① JO(江淵編集委員長)

JO(Vo. 75(1)からVol. 77(6))の発行状況、投稿・受理状況について報告された。

特集セッションの発行状況、発行見通しについて報告された。

二重投稿があったことが報告され、当該論文をリジェクトし、当該著者のJOへの投稿を禁止したことが報告された。

② 海の研究(吉田編集委員長)

海の研究第30巻5号(特集「海洋学の10年展望2021」)が2021年11月15日に発行されたことが報告された。第30巻6号は2021年12月15日に発行予定であることが報告された。

③ ニュースレター(岩本編集委員長)

JOS ニュースレター(第 11 巻 3 号)が 2021 年 11 月 1 日に発行されたことが報告された。

80 周年記念号の準備状況について報告された。

第 11 巻 4 号の準備状況について報告された。

(6) 広報委員会(川合幹事)

海洋学に関する用語集を海洋学会のホームページに公開したことが報告された。現状では研究に関する将来構想の中で出てきた用語について掲載しているが、今後拡充していく予定であることが報告された。

(7) 海洋環境委員会(梅澤幹事)

2021 年度採択課題に関して、青い海助成事業の謝辞への記載に関して報告があった。

(8) 教育問題研究会(川合幹事)

2021 年 11 月 3 日～7 日にサイエンスアゴラがオンラインで開催され、教育問題研究会が参加し、「世界の海をめぐる流れと私たちの生活」という企画を実施したことが報告された。

2021 年 11 月 23 日に海洋教育学会の設立に関する第 3 回のオンライン準備会合が開催されたことが報告された。2022 年 2 月 12 日にハイブリッド形式で設立大会を開催し、趣意書、学会規定を審議して設立を宣言する予定であることが報告された。

(9) 海洋生物学会(西部幹事)

2022 年 3 月 19 日～21 日の間の 1 日半で、海洋生物シンポジウムを開催予定であり、今のところハイブリッド形式での開催を予定していることが報告された。

(10) 研究に関する将来構想 WG(高橋幹事・川合幹事)

レビュー論文のとりまとめ、記念シンポジウムが終了し、2021 年 10 月 8 日に WG の会合が開かれたことが報告された。今後、一般に向けた取りまとめについて話し合いを行う予定であることが報告された。

研究に関する将来構想のアンケート結果について報告された。

(11) 男女共同参画(野口幹事・伊藤副会長)

2021 年 10 月 19 日に第 19 回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムがオンラインで開催され、伊藤副会長、野口幹事、寒川会員の 3 名が参加したことが報告された。内容については学会のニュースレターにて報告予定であることが述べられた。

男女共同参画学協会連絡会は、2021 年 11 月に第 19 期から第 20 期に引き継がれることが報告された。また、2021 年 12 月 13 日に第 20 期第 1 回の運営委員会が開催予定であり、伊藤副会長と野口幹事が出席予定であることが報告された。

現在実施中の第5回科学技術系専門職大規模アンケートの回答状況について報告された。

(12) 水産・海洋科学研究連絡協議会(伊藤副会長)

2021年11月12日に日本学術会議が主催の公開シンポジウム「フードシステムと養殖の未来」が開催されたことが報告された。

2021年12月10日に第2回水産・海洋科学連絡協議会が開催予定であり、伊藤副会長の代理で高橋幹事が出席予定であることが報告された。

(13) 防災学術連携(中野幹事)

2021年10月8日にJpGUの環境災害対応委員会があり、海洋学会の活動実績として、秋季大会のセッション「海洋環境における放射性核種の動態—東京電力福島第一原発事故から10年の海洋科学的総括—」を行ったことを報告したことが述べられた。

また、JpGUでのセッション立ち上げについて審議されたことが報告された。

(14) 若手支援(伊藤幹事)

2021年9月9～11日に開催された、海洋若手研究集会在ハイブリッド開催となったため、返金が発生したことが報告された。今後、追加募集をかける予定であることが報告された。

秋季大会期間中の2021年9月15日に若手会員との懇談会を秋季大会で実施したことが報告された。懇談会での要望を受けた今後対応案について報告された。

(15) リクルート戦略WG(梅澤・帰山幹事)

海洋・水産系の大学・進路の相談窓口を学会ホームページに作成する予定であることが報告された。

(16) 80周年記念WG(乙坂幹事)

2021年9月13日に80周年記念シンポジウムを実施したことが報告された。また、終了後に実施したアンケートの結果について報告された。

以上